

日本人と「型」

ごあいさつ

「型」ということばから、皆さまはどのようなことを連想されるでしょうか。

染色や陶芸、工芸、和菓子づくりなどで使用される、“かたち”をつくりだすための「型」。芸能や武道などの動きや様式といった、精神的支柱とも換言できる「型」。「紋切り型」、「型に嵌る」、「型破り」などの慣用句も馴染み深いものです。「型」の意義は多様ですが、どの側面からみた「型」も、日本の芸術・文化の文脈における重要なキーであるといえるでしょう。

今回の展示では、日本文化に根付く「型」に着目しました。「型」（パターン）が活用されている作品、あるいは、何らかの「型」（フォーム、スタイル、タイプ）が特徴的に出現している作品を選出しています。

伝統として継承される「型」がある一方で、「型」を超越・展開していくものもあります。両者を再認識しながら、作品それぞれの魅力を感じ得ただければ幸いです。

2015年3月

たましん歴史・美術館